

Presentation



Contents

【概要説明】

- はじめに
- 活動履歴
- ディスクドッグとは

【大会説明】

- 競技ルール
 - 共通ルール
 - ディスタンスルール
 - フリースタイルルール
- 大会設営
- タイムスケジュール
- 撤収

【デモンストレーション】

- デモンストレーションとは
 - デモの目的と効果
 - 活動体制
 - イベントへの貢献
- デモンストレーション設営
- タイムスケジュール

【さいごに】

おもい

【 概要説明 】

1. はじめに

2016 年 4 月に設立された「北海道シリウス友の会」は、犬との健全なコミュニケーションを深め、適切な社会化としつけ、マナーを学びながらティスクドッグの普及を目指す団体です。近年、犬の飼い方に関する問題がマスメディアで取り上げられることが増えており、私たちは犬を家族として迎えた人々に対し、誤った飼育方法に陥らないよう行政、愛護団体、動物取扱機関と連携し、適切な飼育への「架け橋」となることを目指しています。

私たちは、ボランティアを主体とした活動を通じて実績と経験を積み重ね、信頼を築き上げてまいりました。イベント、大会、セミナーなどを通じて、人と犬との共存の可能性とその未来を探求し、進化し続けたいと考えています。また、私たちは営利を目的とせず、愛犬との絆を深める「ティスクドッグ」というコミュニケーション手段を、より多くの人々に安全かつ適切に紹介するために、「大会やデモンストレーション」などの活動を積極的に展開しています。

2 活動履歴

豊富な活動実績は、私たちの信頼と継続的な活動能力を裏付けるものです。

[2016 年] 北海道シリウス友の会設立、大会 3 回開催、剣淵町道の駅 10 周年記念デモ、動物愛護フェスティバルデモ実施

[2017 年] 春夏秋と大会 3 回開催、動物愛護フェスティバルデモ実施

[2018 年] 春夏秋と大会 3 回開催、動物愛護フェスティバルデモ、鷹栖町山恵ドッグランデモ実施

[2019 年] 春季大会開催、動物愛護フェスティバルデモ、真駒内アイスアリーナわんにゃんフェスティバルデモ、留萌市川まつりデモ、鷹栖町山恵ドッグランデモ実施

[2020 年]

夏秋と大会 2 回開催

[2021 年] 秋季と大会 2 回開催、TK ドッグスクール七飯町デモ実施

[2022 年] 春夏秋と大会 3 回開催、動物愛護フェスティバルデモ実施

[2023 年] 春夏秋と大会 3 回開催、TK ドッグスクール七飯町デモ、Stubble Village 鈎路市デモ、動物愛護フェスティバルデモ実施

[2024 年] 春夏秋と大会 3 回開催、動物愛護フェスティバル & えべつマルシェデモ、Stubble Village 鈎路市デモ実施

[2025 年] 春夏秋と大会 3 回開催、動物愛護フェスティバル & えべつマルシェデモ、Stubble Village 鈎路市デモ実施

3 ティスクドッグとは

「ティスクドッグ」は、競技者（人間）と犬がペアで参加し、犬の運動能力と愛犬とのコミュニケーション能力を競うドッグスポーツです。競技者が投げたティスクを犬が空中でキャッチし、その得点を競います。

ティスタンス部門:

60 秒の制限時間の中で、ティスクを投げ、犬ができるだけ遠くでキャッチし、競技者にレトリーブ（持つて帰る）した際の得点の合計を競います。

フリースタイル部門: 競技者と犬が連携し、120 秒間の曲に合わせてacroバティックな演技を披露し、犬のスキル、人のスキル、および総合的なパフォーマンスで得点を競い合います。

ティスクドッグは、プロのように賞金で生計を立ててるスポーツではなく、愛犬との絆を深めながら豊かな共存生活を送るための、素晴らしいコミュニケーション手段の一つです。

【 大会説明 】

1 競技ルール

共通ルール

チーム構成

1 頭の犬と 1 人の人間がチームを組み、各ポイントを競います。

狂犬病予防

地方条例に基づき、全ての競技参加犬は狂犬病の予防接種が義務づけられており、主催者による確認を徹底します。

必須事項 / 犬の管理

- ・競技中や練習時を除き、犬は必ずリードをつけるか、サークル（ケージ）で管理し、脱走防止を徹底します。
- ・競技終了後もただちにリードをつけます。

脱走防止の徹底 / 排泄物の処理

- ・飼い主は排泄物を処理し、競技中に排泄した場合は、ただちに競技を中止し、清掃したのちに競技を再開します。
- ・衛生管理の徹底

競技中のマナー

審判や関係者に対し、不適切な言動やスポーツマンらしくない行為をした者は、競技者の資格を剥奪します。

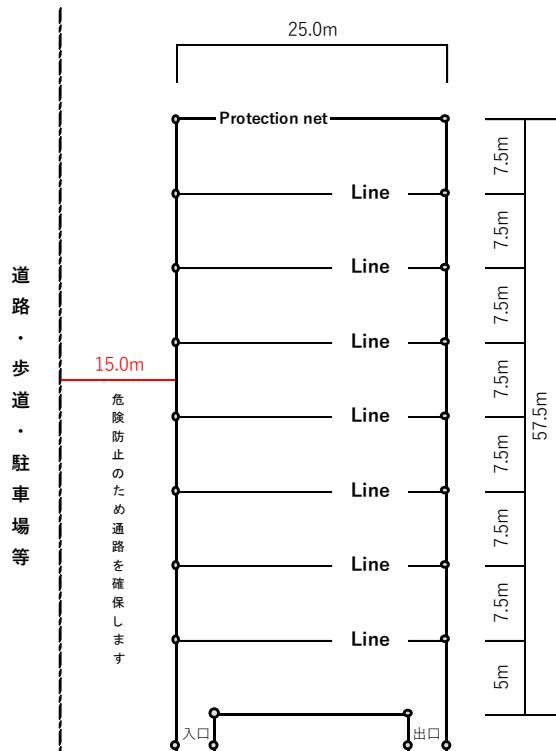
ディスタンスルール

- ・60 秒間の制限時間の中で、ディスクを投げ、犬がキャッチした場所を得点とし、その合計ポイントを競う競技です。
- ・ルールの詳細については、ホームページのルールを参照してください。

フリースタイルルール

- ・フィールドは、ディスタンスフィールドをそのまま使用します。
- ・競技者が用意した 120 秒間の曲に合わせて、人と犬による演技を行います。
- ・ディスクは、5 枚から 10 枚を使用します。
- ・ポイントは、人のスキル、犬のスキル、およびそれらを合わせたスキルの高い技を高ポイントとし、その合計ポイントで競い合います

フィールドは、「以下の図」の通りとします。



2 大会設営(フィールドの安全性重視)

競技場(フィールド)の設営にあたっては、犬の脱走やディスクの場外逸脱防止、および施設・グラウンドの保全に最大限配慮します。

フィールドサイズ

横幅 25.0m~30.0m × 縦幅 57.5m を基本とします。

安全距離の確保

通路の確保や危険防止のため、フィールド周囲に 10m から 15m 以上の距離を確保します。

防護ネット(Protection net):

フィールド全周に防護ネット(高さ 60cm~90cm 以上)を張り、犬の脱走やディスクの場外逸脱を確実に防ぎます。

杭の使用:

杭は、グラウンドの暗渠(あんきょ)に影響を与えないよう、打ち込み長さを 50cm 以下とし、5m~10m 間隔で使用します。(風向きにより 20 本~50 本程度)

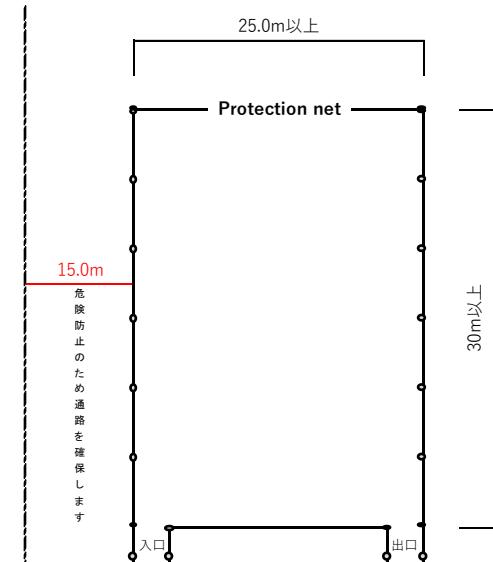
ライン引き:

芝生への影響を考慮し、肥料用石灰などを使用します。

設営・撤収:

機材一式は基本的に当団体で用意し、速やかかつ時間内に撤収を行います。撤収後には、管理者様による確認をしていただきます。

フィールドは、「以下の図」の通りとします。



3 タイムスケジュール

目安:

100 エントリーの場合、設営・撤収・インターバルを含め 6:00 から 16:00 前後を基本とします。

柔軟な運営:

エントリー数やクラスにより競技時間は調整(1 分～2 分程度)し、円滑な運営に努めます。

トラブル対応:

スケジュールをデジタル化し、悪天候や交通トラブル等があらかじめ予想される場合には、迅速な情報周知と柔軟な対応を検討します。

防護ネット:

設営は大会と同様に防護ネット(高さ 60cm～90cm 以上)を張り、犬の安全と場外へのディスク逸脱防止を徹底します。

杭の使用:

グランドの暗渠に影響を与えないよう、杭の打ち込み長さは 50cm 以下とします。

柔軟な対応:

イベント会場によりフィールド確保が十分でない場合は、個別に相談に応じ、安全性を確保した上で最適なフィールドを作成します。

3. タイムスケジュール

基本構成:

1 時間程度の公演を基本とし、30 分程度の体験型イベント(ディスクゲッターやセミナー)を組み合わせることが可能です。

チーム数:

各部門から 5 チームずつ、計 10 チーム程度で構成します。(当日の状況により変動)

【 デモンストレーション 】

1 デモンストレーションとは

デモは競技形式ではなく、「見せること」に特化したイベント形式です。イベントの集客と盛り上がりに直接貢献することを目的としています。

注目度の高さ

- MC を交えてディスクと犬の楽しさを伝え、笑いと感動を提供することで、高い集客力と注目度を獲得します。スタッフを含め全員がボランティアで参加しており、ディスクドッグを広めたいという共通の想いで活動しています。

- 柔軟な実施フィールド構成は広いスペースを必要とせず、規制内で柔軟に設営が可能です。フィールド設置が難しい場所でもまずはご相談ください。

- 多角的な展開イベントの趣旨に合わせ、デモ以外に場内参加型の「体験ディスク」「ディスクスローセミナー」「しつけ教室」などを実施し、集客効果を最大化します。

私たちは、デモを通じてイベント全体の集客と成功に貢献することを第一に考えます。

2. デモンストレーション設営(最小限のスペースと安全性)

施設管理者様へ:

デモは競技と異なり、最小限のフィールドで実施可能です。

最小フィールド:

片面 30m から 40m の長さ、短辺方向は最小長 25.0m 以上を一つの目安とします。

安全距離の確保:

通路の確保や危険防止のため、フィールド周囲に 10m～15m 以上の距離を確保します。

【 さいごに 】

おもい(犬の家族としての重要性)

ディスクドッグやレトリーブにおいて、「できる」「できない」という結果が全てではありません。その過程こそが、愛犬とのコミュニケーションを育む大切なツールです。

例えば、「すわれ」→「まて」→「とってこい」→「もつてこい」→「はなせ」。この一連のコミュニケーションは、しつけや服従訓練、適度な運動につながり、犬が初めて家族の良き一員となる土台を築きます。その先に、ディスクドッグという楽しみが生まれます。

私たち「北海道シリウス友の会」は、こうした健全な犬との関係づくりに対し、その一角を担う**「犬」という家族**に重点を置いた団体です。デモ、練習会、競技会を通して、「きっかけ」「やり方」「過ごし方」など、様々なアプローチから、将来のトラブルに発展しない社会を北海道の地より創造してまいります。何卒、私たちの理念にご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

**北海道 シリウス 友の会
代表 松坂**